

団 体 名：地域支援ネット「かぜ」

所 在 地：岩国市美和町渋前645-4

活動内容：過疎に立ち向かう ～自然と歴史を活かす～

(活動紹介)

1 活動の目的

主に岩国市美和町と下関市豊田町を中心とした過疎地の生涯現役社会づくりの推進を支援し、県域のモデルとなる対策事業を企画・実行することにより、県内各地の中山間地域づくりグループ、団体との連携強化を図ります。

2 これまでの活動内容等

岩国市美和町長谷地区と下関市豊田町檜原地区の2地域で広域的な活動を展開しています。

◆ 岩国市美和町長谷地区

廃校となった旧長谷小学校を拠点に、「きらきら輝く子ども元気塾イン美和」や「真夏のコンサート」などを開催するとともに、交流人口の増加を図るため、弥栄湖情報センターで「癒しのコンサート」を開催しました。

また、他の団体の活動支援を行う他、地域活性化の促進を図るため、岩国市美和総合支所と協働し、長谷地区ふるさとづくり推進協議会の活動を促進しています。

◆ 下関市豊田町檜原地区

地元のボランティアグループ「檜原ゆうあい会」の設立を支援し、様々な事業を展開しています。具体的には、荒廃した農道を肥中街道として再生し、散策道を整備。毎年4月に梨の花ウオークの歴史コースとして活用し、町の観光、交流人口増に貢献しています

また、豊田町郷土史研究会と協働で、地域に関わる郷土史講座を開催したり、道の駅との協働による情報発信等を行うとともに、隣接地域の環境・景観整備支援や鳥獣被害対策等の推進のため、行政、観光協会など様々な団体と協働し、課題解決を促進しています。

3 活動の展望

下関市豊田町のホタル街道、岩国市美和町の岩国往来は、二地区の活動が大きく寄与し、ともに国土交通省の街道ルネッサンスに認定されました。「自然と歴史」という身近な資源を活かすことで交流人口を増し、過疎に負けずに地域を活性化させることができると考えています。

地道な二地区の活動は、今や地域になくってはならないものとなっており、後継者を育成し、点から線、線から面への活動展開が肝要と考えています。



きらきら輝く子ども元気塾イン美和



荒廃した肥中街道の整備